

## ケロイド・肥厚性瘢痕

人間の傷が治る過程で瘢痕組織がつくられます。これは傷が治るのに必要ですが、ときにこの**瘢痕組織が過剰に産生**されてしまいます。これが**肥厚性瘢痕**です。また、もとの傷あとをこえて**次第に広がってゆくものがケロイド**です。ケロイド体質の方では傷がないのに突然に肩や胸にできることがあります。一般に目立つ傷跡をケロイドということがあるようですが医学的には違うことが多いようです。

《どのような症状があるのか・・・》

**赤みが強く盛り上がっている・かゆみや痛みがある** などがあります。場所によっては引きつれ感がでることもあります。またケロイドは徐々に広がっていきます。

《どうしてなるのか・・・》

傷が治っていく**反応が過剰になり肥厚性瘢痕**となります。

過剰になった反応が**制御できずに増殖を続けてしまうとケロイド**になります。

原因は解明されていませんが、ケロイドや肥厚性瘢痕になりやすい条件や場所があります。

条件：**傷が治りにくかったとき**・・・化膿・異物・潰瘍化など

**傷への緊張が強いとき**・・・引っ張られるところ・しわに直角の方向・成長期  
**人種や年齢**など・・・・・・・・黒人>黄色人種>白人 若年>高齢者 体質

場所：**肩・肩甲骨周囲・上腕・胸骨周囲・恥骨上**などがなりやすいといわれます。

《治療法は・・・》

根治させるのは簡単ではありません。**時間がかかります**。もともと傷跡なので**普通の皮膚と同じ状態にはなりません**。しかし継続することで**症状の改善**は望めます。

**圧迫治療** 物理的に圧迫するので薬品を使わない利点があります。数ヶ月かかります。皮膚が弱い方はかぶれに注意が必要です。

**ステロイド** 皮膚への少量の使用なのであまり副作用はないといわれています。

**注射** 直接患部に注射します。1回/月くらいの通院です。比較的効果は早く出ますが数回から数十回必要です。注射が痛いのが欠点です。

**軟膏** 直接患部にぬります。必ずはみださないよう塗ってください。効果が出るのには時間がかかるのが難点です。

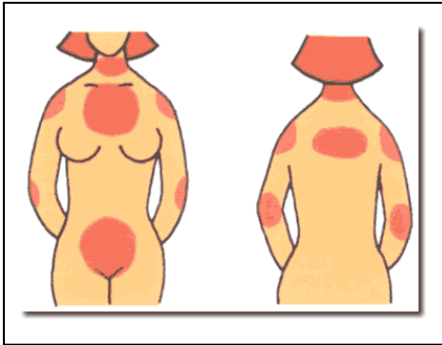
**テープ** 直接患部に貼ります。必ずはみださないよう貼ってください。効果が出るのには時間がかかるのが難点です。かぶれに注意が必要です。

**トラニラスト内服** もともと抗アレルギー剤です。膀胱炎様症状・肝機能障害・消化器症状・ねむけなど副作用に注意が必要です。数ヶ月の服用が必要です。

**手術療法** 切除してもまた傷ができるので、さらに過剰な反応がでてしまうことを考慮し慎重に行わなければなりません。一般に他の治療を併用します。

**電子線治療** 当院では現在行っていません。ケロイドのでき始めに効果があるとされ、ケロイド手術後などに行います。皮膚障害などが起こることがあります。

好発部位



成因

